

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年01月27日

計画の名称	横手市における住環境の向上（第三期）（防災・安全）													
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	横手市													
計画の目標	将来のライフスタイルに対応し、安全で快適な住まいづくりを推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		70	A	70	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値	最終目標値 (R7末)
1	横手市における耐震性が確保された住宅の割合 住宅・土地統計調査の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数) (%)	73%	%	80%
2	横手市における市有建築物（耐震改修促進法第14条）の耐震化の割合 市所有特定建築物の耐震化進捗状況をもとに算出する。 (市所有特定建築物の耐震化率) = (耐震性が確保された市所有特定建築物数) / (市所有特定建築物全数) (%)	80%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	横手市	間接	個人	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業（横手市全域）	木造住宅の耐震改修及び耐震改築	横手市						25		-	
		市内全域が多雪区域																		
	A16-002	住宅	一般	横手市	直接	横手市	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業（横手市全域）	木造住宅の耐震診断	横手市							4		-
	A16-003	住宅	一般	横手市	直接	横手市	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業（横手市全域）	市有建築物の耐震診断	横手市							32		-
	A16-004	住宅	一般	横手市	直接	横手市	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業（横手市全域）	市有建築物の耐震改修	横手市							9		-
												小計						70		
												合計						70		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	2	2	2		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	2	2	2		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	2	2	2		
翌年度繰越額 (f)	0	0	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

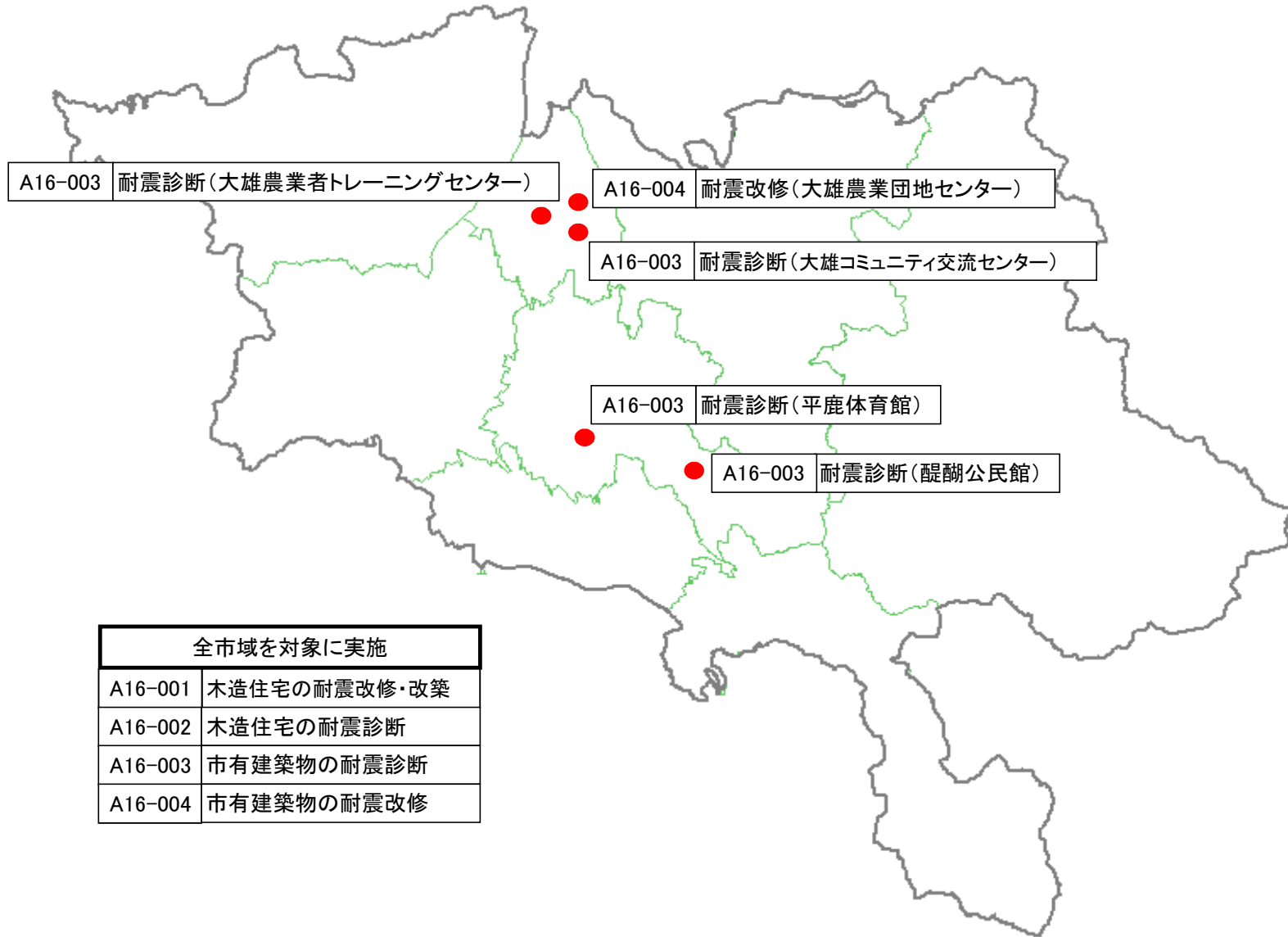
事前評価チェックシート

計画の名称： 横手市における住環境の向上（第三期）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標が数値等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 事業実施のための環境整備が図られている。	○

(参考図面)

計画の名称	横手市における住環境の向上(第三期) (防災・安全)		
計画の期間	令和3年度 ~ 令和7年度 (5年間)	交付対象	横手市



A16-003 耐震診断(大雄農業者トレーニングセンター)

A16-004 耐震改修(大雄農業団地センター)

A16-003 耐震診断(大雄コミュニティ交流センター)

A16-003 耐震診断(平鹿体育館)

A16-003 耐震診断(醍醐公民館)

全市域を対象に実施	
A16-001	木造住宅の耐震改修・改築
A16-002	木造住宅の耐震診断
A16-003	市有建築物の耐震診断
A16-004	市有建築物の耐震改修